

組織間関係による機能性材料の技術経営戦略分析

著者	近森 洋二
発行年	2018-09
その他のタイトル	Analysis of Technology Management of Strategy for Functional Materials Business by Inter-organizational Relations
学位授与機関	高知工科大学
学位授与番号	26402甲第331号
URL	http://hdl.handle.net/10173/1979

氏名(本籍)	近森 洋二(高知県)
学位の種類	博士(学術)
学位記番号	甲第331号
学位授与年月日	平成30年9月25日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻
学位論文題目	組織間関係による機能性材料の技術経営戦略分析

論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	那須 清吾
	高知工科大学	特任教授	永野 正展
	高知工科大学	教授	桂 信太郎
	高知工科大学	教授	富澤 治
	高知工科大学	准教授	坂本 泰祥

審査結果の要旨

1.論文の評価

本論文は、製品階層としては完成品メーカーに対して下層にあり、開発から製品化のリスクが比較的高い B to B の機能性材料のリスクを考慮した経営戦略の在り方を、経営変数、組織間関係や市場環境などの外部環境、経営戦略の3要素の関係性で分析することで、よりリスクが低く適切な戦略選択が可能であることを事例分析に基づいて検証した論文である。選択可能な経営戦略は経営変数、組織間関係や市場環境で決定されるが、企業が目指す経営改善や将来の機能性材料の開発と市場獲得に対して、①技術・資本リスクと②将来の企業存続リスクを評価することで経営戦略を選択していることを事例分析で示した。また、市場が存在する場合には①技術・資本リスク評価で経営戦略が決定されるが、市場が存在せず新たな技術開発が必要な場合は、①技術・資本リスクと②将来の企業存続リスクの双方を評価しており、特に②将来の企業存続リスクにおいて比較的高いリスクレベルを取る選択を行う傾向があることを示した点で、その研究成果が高く評価されるとともに、機能性材料メーカーの経営戦略の選択に関わる経営変数、組織間関係や市場環境などの外部環境、経営戦略の3要素の関係性分析が実務的に有用であると考えられる。

2.審査の経過と結果

- (1) 平成30年7月4日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5名がその審査委員として指名された。
- (2) 平成30年8月24日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 平成30年9月5日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。